

キーワードは…

安曇野市観光振興ビジョン

安曇野暮らし ツーリズム

安曇野市の観光が目指している「安曇野暮らしツーリズム」。
市民の皆さんのご協力をいただきながら、来訪者に安曇野らしい暮らしや生き方を伝え、交流を通じて暮らしや生き方をさらに輝かせることが狙いです。

市が目指す観光像

安曇野市には、湧水などの豊かな自然環境、美しい農村景観、歴史や文化、芸術などがあり、昨年度、安曇野市には延べ363万人もの人々が訪れています。市は昨年3月、「安曇野市観光振興ビジョン」を策定。観光振興の意義を、観光関連事業者だけでなく、市民の皆さんや他産業などとの連携のもと、市全体を豊かにすることとしてとらえました。そして、そのキーワードとして定めたのが「安曇野暮らしツーリズム」です。

3つのテーマを基に取り組み

安曇野の風土は、日本の原風景・心のあるさといわれています。市観光振興ビジョンの策定検討委員会では、来訪者に一番伝えたいこととして、自然と共生し、農のある景観と地産地消による豊かな食生活、文化や芸術に触れ、みんなで協力しあって暮らししていくという「安曇野らしい暮らしぶり」だと考えました。そして、安曇野の暮らしに大きくかわり、代表的な地域資源でもある「水」「農」「歴史・文化、芸術」をテーマに戦略プロジェクトを設定しました。今後、この3つのテーマを基に具体的な取り組みを進めます。

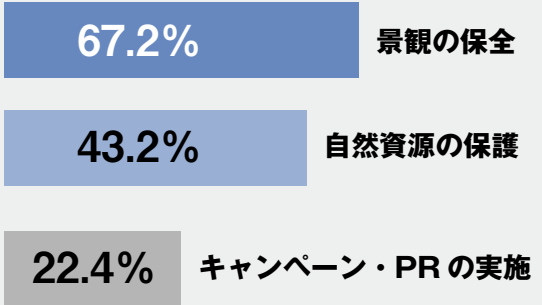
市 民意識調査（平成24年4月）によると、市民が必要だと考える観光施策として、「景観の保全」が67%と最も多く、次いで「自然資源の保護」が挙げられました。安曇野の美しい景観や自然を誇りに思い、大切にしたいという「安曇野暮らし」の価値観が現れています。

観光施策への期待・望ましい来訪者との関わり

観 光施策への期待としては、「飲食業や宿泊施設の振興」が半数を超える一方で、「市民活躍の場の拡大」は15.6%と低く、望ましい来訪者との関わり方では、30%以上が「特に関わりたくない」と回答していることから、市民の皆さんに「安曇野暮らしツーリズム」をご理解いただき、協力いただける仕組みを作っていく必要があります。

市民の声

必要と考える観光施策



来訪者・未来訪者の声

安曇野暮らしツーリズムの参加意向

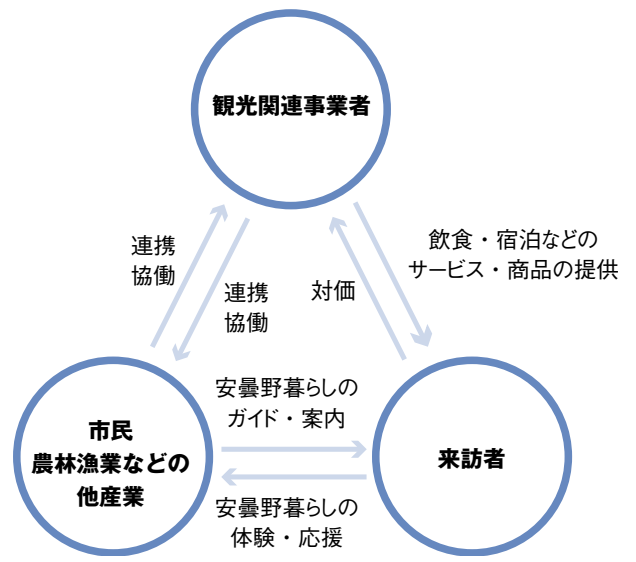
旅 行者ニーズ調査によると、「安曇野暮らし」をコンセプトとした体験について、安曇野市に訪れたことがある人の59.5%が参加希望と回答、訪れたことがない人の46.7%が参加希望と回答しました。（参加希望＝「そう思う」と「ややそう思う」と回答した人の合計）

安曇野暮らしツーリズムとは…
安曇野らしい暮らし方・生き方「安曇野暮らし」を知り、広く伝え、磨きをかけ、さらに輝かせていく一連の活動

地域を知り、伝え、磨く

市民の皆さんが安曇野の地域資源にふれ、暮らし続けたいと思えるまちづくりに取り組むことは、来訪者をひきつけ、豊かな旅を提供することにつながります。そして、来訪者との交流は、私たちの暮らしをさらに輝かせることに結びつかねばなりません。市では、皆さんと共に、この仕組みづくりに取り組みます。市観光振興ビジョンの詳細は、市ホームページ、市内図書館で閲覧できます。

安曇野暮らしツーリズム



数値目標指標

各施策に計画的に取り組むため、市観光振興ビジョンでは以下の数値目標を指標としました。なお、現状数値の把握ができていない項目は、今後、必要な数値を把握し、目標数値を設定していきます。

●観光経済波及効果

観光による経済波及効果の最大化を目指します。平成25年度に推計される市内の観光総消費額を基準とし、平成29年度までに12.3%増、平成34年までに26.1%増を目標とします。

●滞在時間（日帰り客・宿泊客）

来訪者に少しでも長く安曇野市に滞在していただき、安曇野暮らしを体感していただくことを目指します。

●来訪者満足度

「安曇野暮らしツーリズム」の質を向上させ、リピーターの増大や観光消費額の拡大を目指します。「大変満足」の割合を平成29年度までに25.0%にすることを目標とします。（※1）

●再来訪意向

「安曇野暮らしツーリズム」に共感し、安曇野市を応援してくれるリピーターの増加を目指します。「大変そう思う」の割合を平成29年度までに25.0%にすることを目標とします。（※1）

●「安曇野暮らし体験プログラム」参加者数

「安曇野暮らし体験プログラム」を開発し、参加者の増加を目指します。

※1）観光立国推進基本法に基づき閣議決定された「観光立国推進基本計画」の目標に準じる。